

SYMPOSIUM

Shoei Yoh:

A Journey of Light

シンポジウム

葉祥栄

光をめぐる旅

2024.9.7 Sat.

14:00-16:50

Open. 13:30

AIJ Hall

建築会館ホール

〒108-8414

東京都港区芝5-26-20

言語. 日本語、英語

(同時通訳あり)

入場無料

定員. 150名

主催. 公益財団法人 窓研究所

共催. 九州大学葉祥栄アーカイブ

協力. カナダ建築センター、ニューサウスウェールズ大学、豪日交流基金



SYMPOSIUM

Shoei Yoh: A Journey of Light

シンポジウム

葉祥栄 光をめぐる旅

2024.9.7 Sat. 14:00-16:50 開場.13:30

AIJ Hall 建築会館ホール

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

言語. 日本語、英語(同時通訳あり) 入場料. 無料 定員. 150名(要事前申込)

申込期限. 2024年9月5日[木] ※定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申してください。

申込みは右上のQRコード(Google Form)からお願いします。



申し込みはこちら

1970年代にインテリアデザイナーとして設計活動を開始した建築家・葉祥栄。木造表現とデジタルデザインの先駆者として再評価の機運が高まる気鋭の建築家は、「自然現象としての光」を自らのデザインの中に追い求めた。2019年、葉に関連する資料は九州大学に寄託され、現在、九州大学葉祥栄アーカイブにてその整理が進められている。また、2013年の展覧会『Archaeology of the Digital』をきっかけにカナダ建築センター(CCA)にも葉の資料の一部が所蔵された。公益財団法人 窓研究所では九州大学、CCAによる葉祥栄に関するアーカイブの研究を支援。「葉祥栄 光をめぐる旅」と題し、葉祥栄の目指した「光」についてアーカイブ資料を紐解く、日本とカナダの研究者による全7回の連載をウェブサイトにて公開中である。本シンポジウムでは、国内外の研究者と建築家を招き、葉祥栄の追い求めた光について考える。

はじめに

INTRODUCTION

井上朝雄 Tomo Inoue(九州大学)

SESSION 1

インテリアから非建築へ

From Interior to Non-Architecture

ニコル・ガードナー Nicole Gardner(ニューサウスウェールズ大学)

トレーシー・ファン Tracy Huang(ニューサウスウェールズ大学)

岩元真明 Masaaki Iwamoto(九州大学)

司会. 井上朝雄 Moderated by Tomo Inoue(九州大学)

SESSION 2

木構造からコンピューテーションへ

From Timber to Computation

秋吉浩気 Koki Akiyoshi(VUILD)

百枝優 Yu Momoeda(九州大学)

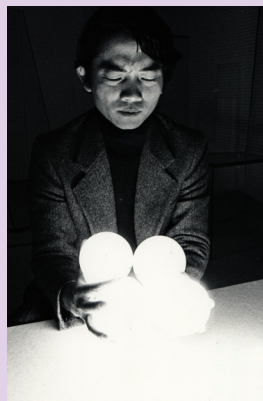
ダニエル・ユー K. Daniel Yu(ニューサウスウェールズ大学)

司会. 岩元真明 Moderated by Masaaki Iwamoto(九州大学)

総括

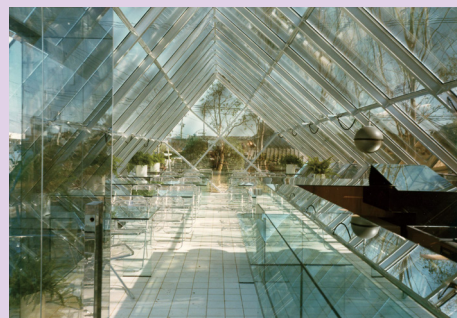
CLOSING REMARK

土居義岳 Yoshitake Doi(九州大学名誉教授)



左. ワイヤレスランプ(1977)を手に抱く葉祥栄

右上. 小国ドーム。撮影:井上朝雄
右下. コーヒーショップ・インゴット
(全て葉祥栄アーカイブ所蔵)



窓研究所とは

窓研究所は、窓を起点に研究事業・文化事業を展開する公益財団法人です。研究調査の実施、助成、出版・展示・講演等による研究成果の公表を事業の柱に、建築のみならず、多分野で活躍する国内外の機関や専門家と連携しながら、複眼的な議論の発展を目指し活動を推進しています。

葉祥栄アーカイブとは

2019年、葉祥栄氏より建築資料の寄託を受け、九州大学大学院芸術工学研究院環境設計グローバル・ハブ内に設立された。3万点を超える原図や写真などの紙資料に加え、200点を超える模型とボーンデジタル資料を保管する。資料に基づいて研究・教育・展示などの多面的な活動を行っている。